

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

<7月>

施設名	さっちゃんルーム
施設所在地	多摩市桜ヶ丘3-32-1

1. 活動のテーマ <野菜って何?>

おいしいもの どんな味 どこにあるの どうやって作るの 食べられるの どこで作るの
どこで買うの どうやって食べるの。。。
など、子どもたちの不思議に答えるテーマとする（絵本、カードなどを活用する）

<子どもたち毎日食べてる野菜について>

‘スーパーで見る規格野菜’ ‘調理済’ ではない本当の姿を見せ興味、関心を持たせる
近隣に3箇所の利用出来る菜園があり
‘市民農園40平方メートル’ ‘園庭2平方メートル’ ‘シェア畑5平方メートル’ 用途に応じて使い分ける

2. 活動スケジュール

年間を通して（トマト、キュウリ、なす、スイカ、かぼちゃ、とうもろこし、ゴーヤ、枝豆、そら豆、さつまいも、ジャガイモ、イチゴ、ブロッコリー、キャベツ、ほうれん草、大根）など15種類以上の野菜を春夏秋冬季節の移り変わりを感じさせながら子ども達と種まき、苗の植栽から栽培、収穫、調理、食育を実践し子ども達の五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）を育み、子ども一人一人の自然な記憶（思い出）として残す計画です
その他に秋刀魚の塩焼き、干し柿作り、餅つきを通して食育を推進する

3. 活動のために準備した素材や道具、環境の設定

畑を耕し（1ヶ月前）野菜別に肥料、堆肥、石灰などを加えPH調整うねを立てマルチ、支柱をセットし種、苗を事前に準備する

【必要な道具】

スコップ、くわ、じょうろ、バケツ、ハサミ、紐、マルチ、カマ、レーキー、コテ、PH、手袋、長靴、バンド、ネット、テープ、メジャー、堆肥、肥料、石灰、虫よけ、かまど、餅つき用具一式、秋刀魚塩焼き一式、干し柿作り一式などその他

4. 探究活動の実践

<活動の内容> きゅうりの収穫と食育

今年は猛暑のため不作で一回だけ子ども達と収穫する
多種多様な形状のきゅうりを並べ子ども達と比較し関心を持たせた

<活動中の子供の姿・声、子供同士や保育者との関わり>

事前にトトロの絵本を見せ丸かじりを体験させる
子ども達に空中にぶら下がったきゅうりをもぎ取らせるのは力があるので職員が手助けをして収穫する



5. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

赤ちゃんきゅうりからへちまみたい大きなきゅうりまで子ども達に見せることが出来て良かった
またきゅうりの花を見せることが出来て良かった

